

*My* **unique**  
*Signature*



## はじめにお読みください

このたび署名ドットコム手書きサービスをご利用していただき誠にありがとうございます。本番練習を開始する前に是非下記のコツをお読みください。これまでの多数のサインデザインから導き出した法則あるいはポイントとも言えるようなものです。こうしたコツを念頭において練習していただくとサイン習得の助けとなることでしょう。

### 「サインマスターのコツ」

#### 1. 「練習資料その一」の説明をよく読む

それぞれの各文字の筆跡位置をみて理解する。今まで書き慣れた自分の名前をもう一回見直す感じで。また書き順説明の部分も詳しく見て理解する。**目で書き順を覚える程度の感覚**です。ただ無理に覚える必要はありません。これによりサインはこんなに崩してもいいのか、またこんな書き方もあるのかということを楽しむ程度で十分です。

#### 2. 「練習資料その二」をなぞる

実際に書くことで手によって設計したサインの感覚あるいは書き順を覚えます。指とペンで書くことによって体感覚で書き順を自然に覚えるのが目的です。ただ綺麗に書こうとか覚えようというような意識は不要。体験してみるという軽い感覚で十分です。中断せず一気に5枚ぐらい書いてみましょう。書き終えたら、自然に覚えるようになります。この際**書くスピートを落とすのがポイント**です。

#### 3. 一旦用紙から離れて、体で覚えた書き順で再度サインを書く

最初はゆっくりでいいですが、慣れたらだんだん書くスピートを上げていきます。こうすることによって、サイン中にあるシャープさが自然と出るようになります。この部分の**ポイントは書きなれない部分を自分風アレンジすること**です。どうしても書き慣れない書き順を大胆に変えたり、直線を短くしたり、点をなくしたりすること。見本通りに書くことだけがマイサインではありません。見本をベースとして、ご自分なりの風合いで書き重ねたものこそマイサインです。

#### 4. 日頃からサインをよく使ってください

せっかくマスターしたサインは使わないと意味がありません。書類、伝票、クレジットカード等々、日常生活のいろいろなシーンでサインをどんどん活用してください。こういった実践を重ねることによって、よりマイサインの上達につながります。

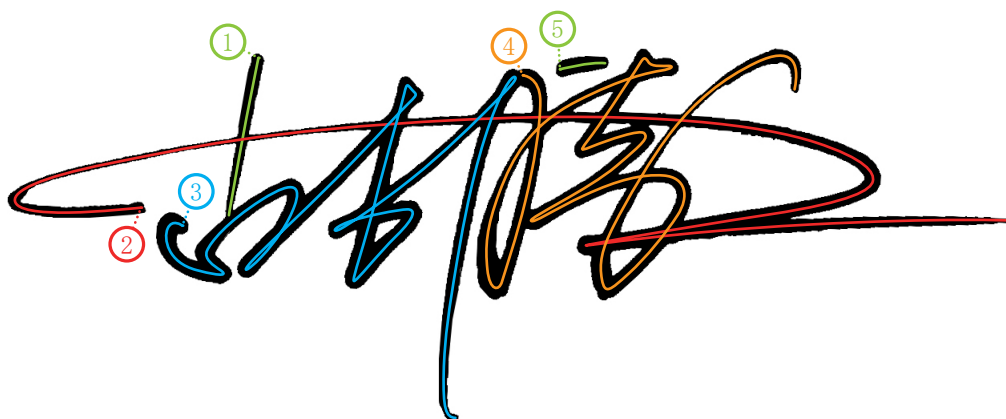
解析図



古木 勝之

古	木	勝	之

筆順の説明



総筆数：5 筆

この用紙をプリントアウトするかコピーするなどしていただき、線の上をなぞる様に何度も書いて練習してください。あるいは別の紙をご用意いただき、下記のサインをお手本として練習してもよいです。目安として、だいたい5枚程度の分量を練習されると、ある程度書けるようになります。ゆっくりと感覚をつかみながら筆画の特徴を覚えましょう。はじめは綺麗に書けるかどうかは気にせず、サインの書き順、書く感覚をつかんでいくのが上手に書けるようになるコツです。

お勝

お勝

お勝

お勝

お勝

お勝

お勝

解析図



T. Kimura

			
T.	Ki	mu	ra

筆順の説明



総筆数：6筆

この用紙をプリントアウトするかコピーするなどしていただき、線の上をなぞる様に何度も書いて練習してください。あるいは別の紙をご用意いただき、下記のサインをお手本として練習してもよいです。目安として、だいたい5枚程度の分量を練習されると、ある程度書けるようになります。ゆっくりと感覚をつかみながら筆画の特徴を覚えましょう。はじめは綺麗に書けるかどうかは気にせず、サインの書き順、書く感覚をつかんでいくのが上手に書けるようになるコツです。

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

i.fimmes

スマート、格好いい、威厳がある、美しい、  
字は人なり、と言います。

サインは、人生のさまざまなシーンで、  
あなたを雄弁に語ります。  
あなたの個性を際立たせます。

**署名ドットコム**  
[www.syomei.com](http://www.syomei.com)